

# 専光寺 会報

第2号

令和2年  
4月発行

「お寺」とは

専光寺総代長 吉村 稔

陽春の候、門信徒の皆さまにはご健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。この度の鐘樓門改築に際しましては、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。お陰さまでご懇志の納入も順調にいただいておりますこと心よりお礼申し上げます。

工事は、大田市の株式会社石原建築(寺社建築専門)にお願いすることとし、昨年契約を行いました。今年一月から解体工事、起工式、二月基礎工事と順調にすすんでおり、七月棟上げ、十一月完工の予定であります。工事代金の支払いは契約に基づいて進められています。詳しくは会報にてご報告いたします。

当建設委員会立ち上げ時には、斎藤俊輔委員長(総代長)でありましたが、昨年三月の任期満了に伴い退任されましたので、私とその任を引き継ぐこととなりました。若輩者ではありますが前任者に変わらぬご協力を下さいますようお願い申し上げます。

本事業完成後には、鐘樓門落慶法要、第十八世住職継職法要が二〇二二年(令和三年)四月二十四日(土)・二十五日(日)に予定されています。門信徒の皆さま方のご厚情により無事終了できますようご協力をお願い申し上げます。合掌

ごあいさつ

普月山 専光寺 住職 朽島 宏樹

春風の心地よい季節となりました。門信徒の皆さま方にはお念仏ご相続のことと存じます。

さて、今年一月より鐘樓門の解体工事が始まり、その後の起工式も無事終わりを着々と進んでおりますことまづもってご報告させていただきます。また、ご懇志のほうも順調に納入して頂きかさねがさね有難く寺族一同感謝申し上げます。

この改築に当たり、今一度専光寺の歴史を振り返ってみたいと思えます。

約四百三十年前の一五八八年、初代慶祐が、蓮如上人直筆の「南無阿弥陀仏」の六字名号をご本尊として大田市大森町柄畑谷に専光寺を建立しました。五代目玄了の時、温泉津温泉に泥落として逗留されていた現在の門徒の先祖の方々が、玄了の法話をお聴聞され、ぜひ益田へ移転をというご縁で今日に至っていると聞いています。久城町を転々とした後、四度目に現在の地に落ち着いて今年三〇年を迎えます。移転も大変だったでしょうが、京都の西本願寺へ開基の許可を得るために何回もご苦労してくださったご門徒の皆さんの熱意には頭が下がります。

この篤い思いに感謝しお念仏の灯火を絶やすことなく後世に伝えていくことが、専光寺を預からせていただいている住職の任と肝に銘じ精一杯精進させていたただきたいと思っております。

今後ともご指導下さいますようよろしくお願ひします。合掌

\*六字名号は、現在本堂余間に掛けてあります。

\*大田市以西の浄土真宗寺院では、専光寺が最も古いと文献に残っています。

## 【ご報告事項】

### (1) 建築会社決定後の経過について

#### ●建築設計図の完成

第一号の会報でご報告致しましたとおり、建築業者は大田市の石原建築に決定しております。

#### ●建築設計図について、石原建築から提案を受けた内容を委員で検討した上、令和元年十二月二十一日に行われた建設委員会にて了承されました。

建設委員会では石原建築の石原専務より工事に係る説明を受けたのち、委員から要望事項を提案しました。

旧鐘樓門と同様、大田式の建築様式であり、また、木彫りの装飾については旧鐘樓門の木材を再利用し、以前の面影をそのまま後世に伝えていきたいと考えております。

立面図を縮小して次ページに掲載いたしますので、参考にしていただければ幸いです。

#### ●工事計画および行事について

工事につきましては、旧鐘樓門の解体がすでに終了し、基礎工事に着手したところです。

解体等今までの工事経過につきましては、除夜会や御正忌報恩講等ご法座のなかで日になちをお知らせさせていただきましたが、改めてこの会報のなかで報告させていただきます。

#### 【今までの経過】

一月十一日・十二日 解体法要

(御正忌報恩講と同日)

一月十三日 足場組立

解体作業開始

一月二十一日 解体作業終了

一月二十八日 起工式

※建設業者・建設委員出席のもと行われました。



二月二十五日 基礎工事開始  
三月三十一日 基礎工事終了

【今後の行事・計画について】

棟上げを七月中旬ごろに予定しています。詳しい日程や内容は、今後ご法座の案内等とあわせて随時お知らせさせていただきます。

その後、八月中旬に屋根施工に着手、十月に電気系統の工事を行い、十一月に竣工の予定です。

●建築総工費と会社への支払いの経過、および今後の支払い計画について

建築業者に支払う建築総工費、それに要する消費税につきましては以下の通りとなります。

総工費の総額を抑えるため、建設委員会前に費用の支払いが発生しております。何卒ご了承ください。

【建築総工費】

総額 29,484,000円

(内消費税 2,184,000円)

※平成三十一年二月二十八日付

契約完了

【木材購入費】

7,900,000円

※令和元年十月から消費税増税

が見込まれたため、建設会社が九月までに材料の木材を購入し、節税を行っております。

十月一日会社に支払済

【着手金】

7,000,000円

※令和二年一月十三日支払済

【今後の支払い計画】

中間金7,000,000円を

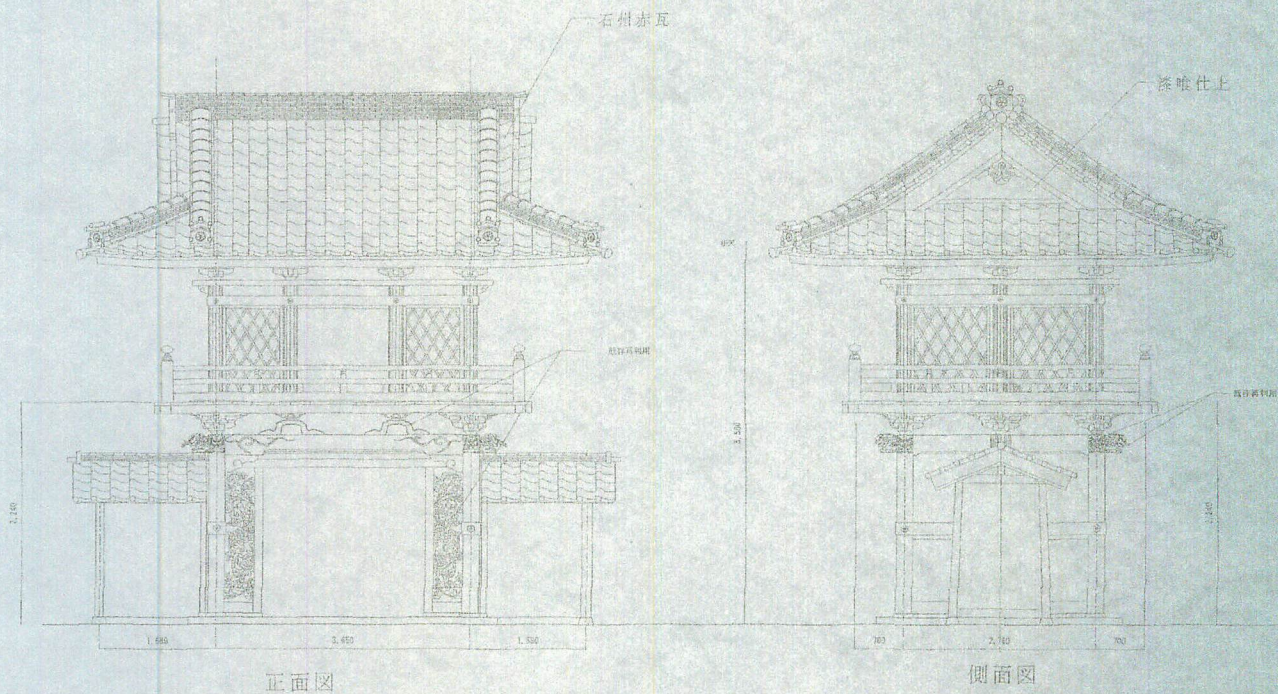
七月三十日、最終7,584,000円を竣工検査後五日以内に支払う予定です。

●令和元年度会計報告

令和元年度の会計につきまして、監事二名による監査を行い、四月五日に開催されました新世話人会・仏教婦人会新役員会合同会議終了後、出席した建設委員に対し会計報告および監査報告を行い承認されました。(二ページの議事録に関連事項がございます。)

参考までに、四ページに収支決算書ならびに監査報告を掲載いたしますのでご覧ください。

【専光寺鐘楼門立面図】



(2) 建築委員会 議事録

●第6回 建設委員会

令和元年十二月二十一日

・建築工程説明・協議

(石原建築説明)

・事務局説明

・懇志納入状況について

・会報発行について

・落慶法要、継職法要について

・会計報告

・監査報告

●新世話人会・仏教婦人会

新役員会合同会議

令和二年四月五日

・建設委員の変更について

・会報発行について

・建設委員の変更について

※本来ならば建設委員会を開

催し会計・監査報告を行う

ところですが、コロナウイ

ルスの影響により、新たに

会議を設けず、当会議に出

席される建設委員に承認を

得たのち、出席されなかつ

た委員には個別に説明・承

認を得ております。

専光寺鐘樓門建設・法要委員会  
委員一覧(分掌別)

最高顧問	枋 畠 宏隆
顧問	枋 畠 宏樹
委員長	吉 村 稔
副委員長	原 智和
	大庭 孝一
	川崎 審爾
	福原 健二
建設部門委員	大庭 俊雄
	渡辺 稔
	福原 幾雄
法要部門委員	大庭 靖子
	川本 恭子
	岩崎 祥子
	海老谷 由美子
	西下 ユキ子
事務局長	枋 畠 和子
事務局	枋 畠 祥子
監事	福原 悟
	山根 秀政

また、委員につきまして総代の  
交替に伴い右のとおりとなりまし  
たので、ご報告申し上げます。

(3) 鐘樓門改築落慶法要・  
第十八世住職継職法要

について

●お稚児さん募集について

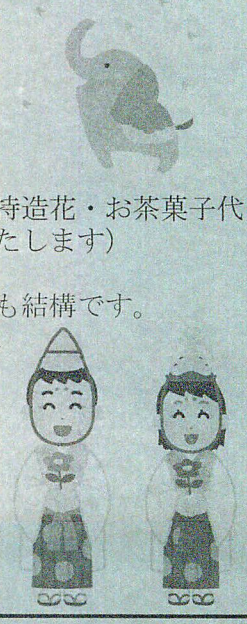
専光寺だよりも掲載しました  
が、お稚児さんの募集を行います。  
お稚児さんとは、正しくは「天  
童子(てんどうし)」といって、発  
心して仏道をもとめ学に志す幼童  
のことです。

おさな心に深い思いはなくて  
も、稚児に出ることがそのまま仏  
様のお徳をたたえ、ご恩に報いる  
こととなり、生涯の良き思い出に  
なると思います。ぜひ、このまた  
とないご縁に多くのお子様のご  
参加をお待ちしております。

門徒さん以外のお子様でも参  
加できます。遠方にお住いのお子  
さん・お孫さん・ご親戚の方など、  
ぜひお声がけしていただきます  
ようお願いいたします。

お稚児さん募集

- 日にち 2021 (令和3) 年 4月24日(土) ・ 4月25日(日)
- 集合時間 12:00 久城台 集合
- 解散時間 15:00 (※予定)
- 参加者 赤ちゃん から 満10歳くらい(身長146cm) までのお子様
- 参加費 4,000円(おひとり) ※衣装レンタル代・草履・お念珠・蓮の手持造花・お茶菓子代  
(お念珠・蓮の手持造花はプレゼントいたします)
- 準備品 腰ひも2本 ・ 白足袋または白いソックス  
靴(スニーカー) ※参道を歩きますので、草履の代わりにスニーカーでも結構です。  
お化粧品 ※基本各自でお願いします。手直しはお任せください。
- 参加申込 今後、参加申込書をお配りいたします。  
申込書と参加費を添えて、各地区の世話人または専光寺へ  
直接お持ちください。
- その他 赤ちゃんでも参加できます。  
その場合、保護者の方が抱っこしてください。
- 問合せ先 専光寺 ☎0856-22-1315



専光寺鐘樓門・継職法要費

(平成30年6月～令和2年3月)

※令和2年3月31日 現在

収入の部		
懇 志	H30年6月	15,000,000
	2月	5,200,000
	3月	260,000
	4月	3,270,000
	R1年 5月	1,150,000
	6月	320,000
	7月	1,140,000
	8月	60,000
	9月	1,420,000
	10月	9,270,000
	11月	380,000
	12月	210,000
	R2年 1月	10,000
	2月	130,000
	3月	180,000
利息		707
合 計		38,000,707

支出の部		
事務費	コピー代 事務用品	7,007
	郵券代	5,504
	収入印紙(契約書)	10,000
会議費	茶菓代他	39,712
建築費	石原建築木材費支払	7,900,000
	石原建築工事着手金	7,000,000
継職費	任命経費 (※本山納め金・登記料等)	277,514
	補任式経費 (※6/20・21 京都)	90,290
合 計		15,330,027


総収入 38,000,707 - 総支出 15,330,027 = 22,670,680 (差引残高)

監 査 報 告

上記専光寺鐘樓門・継職法要費の会計監査にあたり、収入支出に伴う関係書類および関係帳簿・証票等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

令和 2 年 4 月 5 日

監 査

福 原 悟   
川 崎 審 爾 